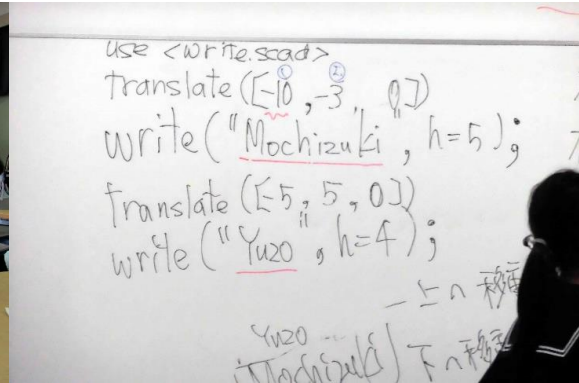




活動レポート

「3Dプリンターを使って名札をつくろう」

理数クラブの小学生30名が参加しました。講師は静岡大学教育学部名誉教授の望月先生です。名札の土台部分は、いくつかのパターンが用意され、その中から（次項完成品参照）一つ選び、その上に自分の名まえをプログラムしました。



<3Dプリンターについて講義を受けている様子>



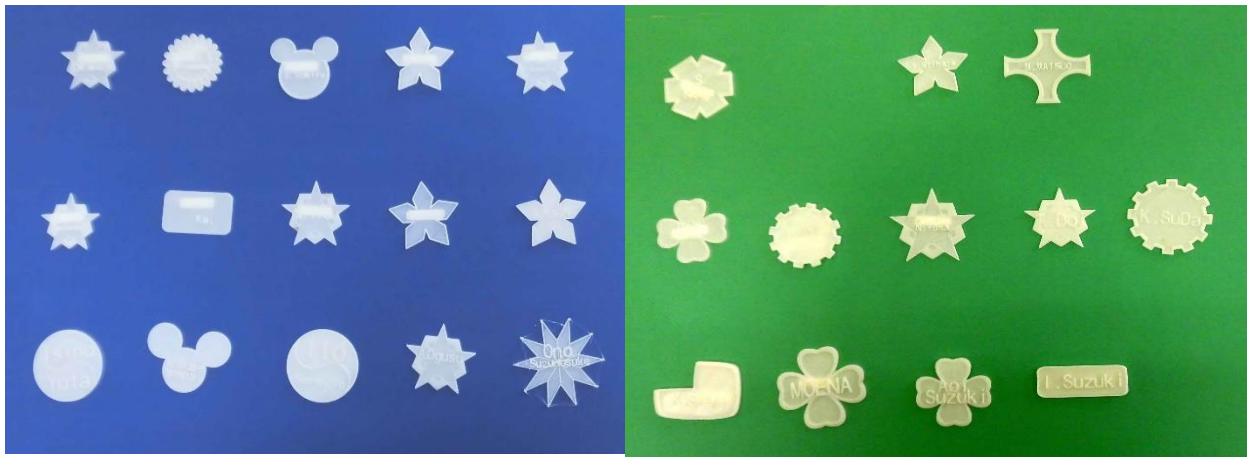
<3Dプリンターで名札を打ち出します>

```
1: // No_29, scad
2: use <MCAD/write.scad>
3: a=1;
4: b=1.5;
5:
6: translate([-26.5, -5, 0]) scale([a, a, 1])
7: write("I. Suzuki", h=10, t=2);
8:
9: scale([b*0.8, b/2, 2])
10: import("test_10.stl");
```

<自分の名前をプログラミング>



<3Dプリンター講座受講の様子>



<3Dプリンターでつくった名札 完成品>

附属浜松中学校トップガン室には、2台の3Dプリンターがあります。担当の先生の指導の下、3Dプリンターを使い、それぞれの名前の名札を作成しました。私たちは、元の形となるデザインをコンピューターの中で作る場所から挑戦しました。慣れない作業のため、データを押し間違えたり、出来上がったものを誤って消してしまったりと失敗を重ねましたが、その都度、先生が助けてくださいました。時間かかりましたが、世界に一つしかない特別な名札が出来上がりました。全員の名札が完成したとき、達成感でみんなとてもいい顔をしていました。これからも仲間と協力し、トップガンの活動がんばっていきましょう。

講師の望月先生より

子どもたちは、みんなよく集中して取り組んでいました。これからも、子どもたちを手伝いながら、いつもそばにいてあげたいです。また、いろいろな課題に挑戦させていきたいと思います。子どもたちにとっていい経験になったと思います。

編集部子ども記者より

先生や友の助けを借り、難しい課題を成し遂げることができました。達成感、僕らの実力、仲間との絆、新しい知識を得ることができました。とても良い経験が出来たと思います。これからも、色々な課外講座を工夫し、絆、知識を深めていきたいです。

トップガンジャーナル子ども記者
小学校6年 足立 心玲・鈴木 伊織